

2019年3月期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q: 5Gの3GPP規格であるRelease 15はSub6GHz向けの規格で、Release 16はミリ波帯向けの規格なのか？

A: Release 15では、使用する周波数（Sub6GHzとミリ波帯）と超高速通信のプロトコルが規定された。Release 16では、これに加え超低遅延と多数同時接続のためのプロトコルが規定される予定である。

Q: FY2019にLTE市場向け計測器の売上高減少を見込む背景について説明して欲しい。

A: FY2019にはLTE市場向け計測需要のうち、特に低価格スマホに関する開発・製造需要が縮小すると見込んでいる。

Q: FY2019は戦略的な研究開発投資が増えるようだが、5Gの進展にあわせてFY2020も増加は継続するのか？今後の研究開発投資の考え方について教えて欲しい。

A: 顧客要求や競合状況などを考慮して開発テーマを選択し、FY2020は売上高に対する研究開発比率をGLP2020の計画通り13%に管理していく。

Q: 非通信計測事業とは何か？検討の進捗状況を教えて欲しい。

A: 次期中期経営計画で新たな成長ドライバーとして立上げ予定の新規計測事業である。アライアンスやM&Aを含めて種々検討している。

Q: コーポレートガバナンスコードのうち唯一エクस्पラインになっている『原則4-11. 取締役会・監査役会の実効性確保のための前提条件（ジェンダーや国際性の面を含む多様性）』に関する取り組みを教えて欲しい。

A: 2019年6月26日の株主総会後の役員体制として女性の社外取締役を1名予定している。また2019年4月1日付けで女性と外国籍の経営幹部が理事に就任した。